

みどりの風

看護師川柳

生きがいを やめて気づいた この仕事（兼島柚葉）

NO.65

発行・編集責任（緑風会会長 大矢正明）

もし患者会がなかったら

どうなる？

「みどりの風」第64号でお知らせしましたように、**岐阜県では一人月平均約40万円かかる透析医療費が全額公費で賄われています。**そのため金銭的に心配なく安心して透析生活を送ることができます。その仕組み（現状）は以下のとおりです。

人工透析医療費の仕組み（現状） 月額40万の場合

医療保険(高額療養費の特例)による給付	39万円	1万円	➡ 自己負担 0円
岐阜県負担5割(5,000円)	市町村負担5割(5,000円)		

このように透析患者は**高額療養費の特例**によって自己負担は1万円なのです。ところがこの自己負担1万円は県単事業「重度心身障害者医療費助成制度」（福祉医療費助成制度）により岐阜県負担5割（5,000円）、市町村負担5割（5,000円）で、患者自己負担は0円です。大変ありがたい制度です。

もし患者会(岐腎協)がなくなったら？

- ▼毎年県当局へ継続のお願いをしている役員がいなくなってしまう。
- ▼県と市町村が折半負担している5,000円がなくなり、**月1万円は患者自己負担になる。**
- ▼**透析以外の医療費（内科、歯科、眼科、整形外科等）は、「福祉医療費助成制度」が使えなくなるので一般患者並みの医療費(1割～3割)負担になる。**
患者会入会を他人事と考えず、みんなが入会・団結し力になりましょう！！

おめでとう！！ 看護師大高亜矢子さん 「最優秀賞」授与される

このたび医療法人録三会佐々木裕茂理事長よりダイアライザの捨て方などの業務改善に多大な貢献をされたことで最優秀賞の表彰状を受けられました。